

児童 2年1組 男子17名 女子12名 計29名  
 指導者 奥州市立佐倉河小学校 早川 真美

## 1 児童について

本学級の児童は、これまでに自分の考えを図やさくらんぼ計算で書く学習を積み重ねてきている。個人差は大きいですが、図に矢印や言葉を書き込める児童も増えてきた。話すことについても、自分の考えを説明する事に加え、友達の考えを読み取って話したり、何人かですつないで話したりと、様々な話す活動を取り入れてきた。少しずつ話すことへの抵抗感は少なくなってきているが、まだ、「自信がない」「恥ずかしい」などの理由で、考え方を話したり、説明したりすることには消極的な児童も少なくない。

マイノートタイムは、1学期の「たし算のひっ算」から取り組んでいる。問題解決の考え方の大事な事柄を落とさないよう、教師と一緒に確認しながらノート作りをすることを基本にしているが、それ以外に、友達の考えで良いと思うところを自分で書き足したりする児童もでてきた。

本単元の学習を進めるにあたり、レディネステストを行った。結果は以下の通りである。この結果を受け、個別指導を要する児童に補充指導を行った。

問 題 の 内 容	正答率%
数を正しく数え、5ずつまとめることができるか。	89.3%
5を単位として、いくつ分あるか分かっているか。	75%
「1あたりの数」と「いくつ分」に着目して問題場面をとらえ、答えを求めることができるか。	96.4%
10とびの数の系列が分かっているか。	89.3%
5とびの数の系列が分かっているか。	96.4%
2とびの数の系列が分かっているか。	89.3%
未習 かけ算の意味が分かり、問題文から場面をとらえ、立式して答えを求めることができるか。	式 46.4% 答 50%
未習 かけ算九九を知っているか。	75%

## 2 本時の指導

### (1) 目標

乗法の用いられる場面をとらえ、被乗数、乗数の意味を理解して立式することができる。

### (2) 授業の視点（研究仮説に関わって）

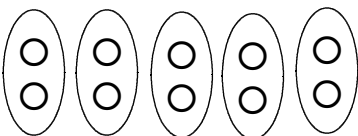
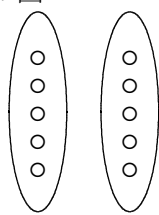
#### ①手立て1 話す

・集団解決の前に、隣の友達と自分の書いた図を説明し合うことで、自分の考えを整理するとともに、2つの問題場面の違いを捉えて、集団解決に臨むことができるようにする。

#### ②手立て2 再思考

・集団解決後に「1つ分」「いくつ分」を使って問題内容を話す活動を取り入れることで、児童が本時の問題場面を正しくとらえてマイノートタイムの活動に取り組めるようにする。

(3) 展開 (第22時)

段階	学 習 活 動		・支援と留意点 ◎評価
	学習過程と教師の働きかけ	予想される児童の反応	
導 入 10 分	<p>1 問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     ①えんぴつを1人に2本ずつ、5人にくばります。 えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ②えんぴつを2人に5本ずつくばります。 えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。                 </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の後半の共通している部分から提示し、前半部分の違いに目を向けさせる。</li> <li>答えは同じなのに、式が違う所に着目させ、式の意味を考えるとという課題に繋げる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの問題の式を立てて、答えを求めてみましょう。</li> <li>お話にあっているのは、どちらの式でしょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの問題について立式し、答えを求める。</li> </ul> <p>①の式 <math>2 \times 5</math> ②の式 <math>5 \times 2</math>      <math>2 \times 5</math></p>	
	<p>2 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     しきのいみを考えよう。                 </div>		
	<p>3 解決の見通しを立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どうやって考えますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図をかいて考える。</li> </ul>	
展 開 30 分	<p>4 自力で解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題をよく見て、図に表しましょう。①が終わったら、②にも取り組みましょう。</li> </ul>	<p>①の図</p>  <p>②の図</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>自信がない児童は、前に呼んで、何人に配るのかを確認する。</li> <li>個別の支援が必要な子には、大まかな図をかいたカードに書くようにさせる。</li> </ul>
	<p>5 集団で解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分がかいた図を隣の友達に説明しましょう。</li> <li>①の問題の図と、②の問題の図の違いはどこでしょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣同士で、考えを説明し合う。</li> <li>それぞれの考えを発表する。</li> <li>①は <math>2 \times 5</math> で②は <math>5 \times 2</math> です。</li> <li>①は、2つずつ5人に配っていますが、②は、5つずつ2人に配っています。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの問題の同じ所はどこでしょう。</li> <li>なぜ、②の式を<math>2 \times 5</math>にしてしまったのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなに同じ数ずつあげていきます。</li> <li>一つ分の数<math>\times</math>いくつ分になっています。</li> <li>問題に2が先に出てきたから。</li> <li>意味を考えなかったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被乗数、乗数にはそれぞれ意味があることを言葉の式で確認する。</li> </ul>
	<p>6 マイノートタイムで考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「1つ分」「いくつ分」を使って、隣の人に問題のお話をしましょう。</li> <li>お話にあった式を立てるために大事なことは何でしたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 1つ分が2本、その5人分だから、<math>2 \times 5</math>です。</li> <li>② 1つ分が5本、その2人分だから、<math>5 \times 2</math>です。</li> <li>教師と一緒にノート作りを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「1つ分」「いくつ分」を使って問題内容を話している。(観察)</li> <li>【マイノートタイムの視点】</li> <li>式、答えを確認する。</li> <li>①、②それぞれ「1つ分」「いくつ分」を確認する。</li> <li>自分の考えを加除修正する。</li> </ul>
終末5分	<p>7 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math>1\text{つ分} \times \text{いくつ分} = \text{ぜんぶの数}</math>        図にかくと分かりやすい     </div> <p>8 適用問題を解く。</p> <p>9 学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日の学習のふり返りをしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P 2 1 の⑤を解く。</li> <li>.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイノートタイムにまとめた内容を確認してまとめとする。</li> <li>「1つ分」「いくつ分」式、答えなどを書き込めるプリントを用意する。</li> <li>◎被乗数、乗数の意味を理解している。 (プリント)</li> <li>自分のがんばりや友達のをさを共有し合えるような場とする。</li> </ul>

(4) 評価計画

評価の観点 (評価場面・方法)	具体の評価規準	努力を要する子への手立て
	Bおおむね満足している	
【考】問題場面をとらえ、言葉や式で説明している。 (発表・観察・ノート)	図を基に、「1つ分」「いくつ分」を使って問題内容を話している。	ノートに「1つ分」「いくつ分」を書いて、話しやすくする。
【知】被乗数、乗数の意味を理解している。 (プリント・ノート)	「1つ分」「いくつ分」をとらえて正しく立式し、答えを求めている。	「1つ分」「いくつ分」を一緒に確認する。

(5) 板書計画

10 / 14 (P. 21)

しきのいみを考えよう。

①えんぴつを1人に2本ずつ、5人にくばります。  
えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。

式  $2 \times 5 = 10$   
答え 10本

①の絵

②えんぴつを2人に5本ずつくばります。  
えんぴつは、ぜんぶで何本ありますか。

式  $2 \times 5 = 10$      $5 \times 2 = 10$   
答え 10本

②の絵

小黑板 (適用問題)

$4 \times 3$   
1つ分 (        ) いくつ分 (        )

問題文

$3 \times 4$   
1つ分 (        ) いくつ分 (        )

問題文